







報道関係各位

2021年12月3日

九州産交バス株式会社 産交バス株式会社 熊本電気鉄道株式会社 熊本バス株式会社 熊本がス株式会社 熊本市で通局

「熊本県内バス・電車子ども無料(大人100円)の日」について ~共同経営推進室・熊本市交通局~

九州産交バス株式会社(本社:熊本市西区上代、社長:岩﨑司晃)、産交バス株式会社(本社:熊本市西区上代、社長:久本正則)、熊本電気鉄道株式会社(本社:熊本市中央区黒髪、社長:中島敬高)、熊本バス株式会社(本社:熊本市東区画図町、社長:岩田昭彦)、熊本都市バス株式会社(本社:熊本市中央区本山、社長:高田晋)、熊本市交通局は、2022年1月29日(土)に熊本県下の路線バス・電車において、子ども(小学生以下)無料(大人100円)の日を実施いたします。

お客様に改めて公共交通を見直してもらう機会を創出し公共交通の利用促進に繋げ、県域全体の移動(おでかけ)の総量増加による地域活性化を図ります。また、交通手段として公共交通を活用する事で渋滞緩和、環境対策に繋げ公共交通の多面的な効果を発現させることを目的としています。

なお、熊本県内の交通事業者5社と熊本市交通局は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しておりますので、安心してバス・電車をご利用いただければ幸いです。

■子ども無料(大人100円)の日について

【実施予定日】 2022年1月29日(土)

【対象路線】 熊本県下路線バス(一部路線は対象外)、熊本電鉄電車及び熊本市電

※一部対象外路線等の詳細については、決まり次第公表いたします。

※新型コロナウイルス感染再拡大等により、中止する場合がございます。

何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

このプレスリリースに関するお問い合わせ 共同経営推進室 TEL:096-312-0588 小田原・西園

参考資料:熊本県内バス・電車無料の日(2019年9月14日実施)

■当日の状況





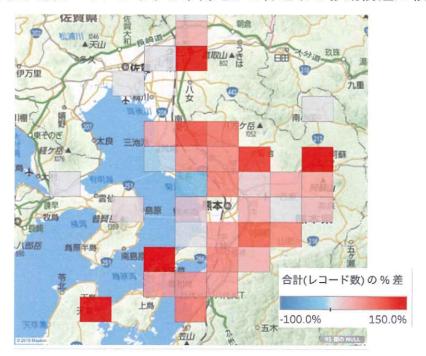




上図当日のサクラマチ クマモトの様子

上図:無料の日イベントポスター

下図人流データによる中心市街地から各地域の移動前週比較



当日の県内の状況

- ①当日無料化公共交通利用者数約25万人(前週比2.5倍)、
- ②サクラマチクマモト10万人想定→25万人、

中心市街地約5億円の経済効果

③地域別で見てみると

【天草】イオン天草ショッピングセンターへの利用者が約4倍、 快速「あまくさ号」は終日満席。

【水俣】水俣市内利用者が1.4倍。

【三角】松島方面へ約3倍、大矢野市内へお買い物や小学生の 学習利用で約3倍の利用者増。

【宇土】宇土市循環バス「行長しゃん号」約3倍利用者増。

【人吉】路線バスが、2.7倍、「ひとよし号」(桜町バスターミナル⇔人吉営業所)は約13倍利用者増。

【阿蘇】小国郷ライナー(小国⇔大津)が約10倍、小国エリアでは約3倍、阿蘇市域では約1.5倍の利用者増。

【山鹿】各施設の利用状況として「さくら湯」で1.4倍、「灯篭民芸館」で1.5倍、「八千代座」で2.3倍等増加がみられた。